

2019年度 国際科
入学試験問題(一般)

課題作文

2月11日実施

<注意事項>

- ・段落ごとに、最初の一文字目は一マス空ける。
- ・「である調」、「ですます調」いずれかで統一する。
- ・句読点は一文字として数える。
- ・数字は一マスに一文字で記入する。

受験番号	氏 名

中村高等学校

<問題は次のページからです。>

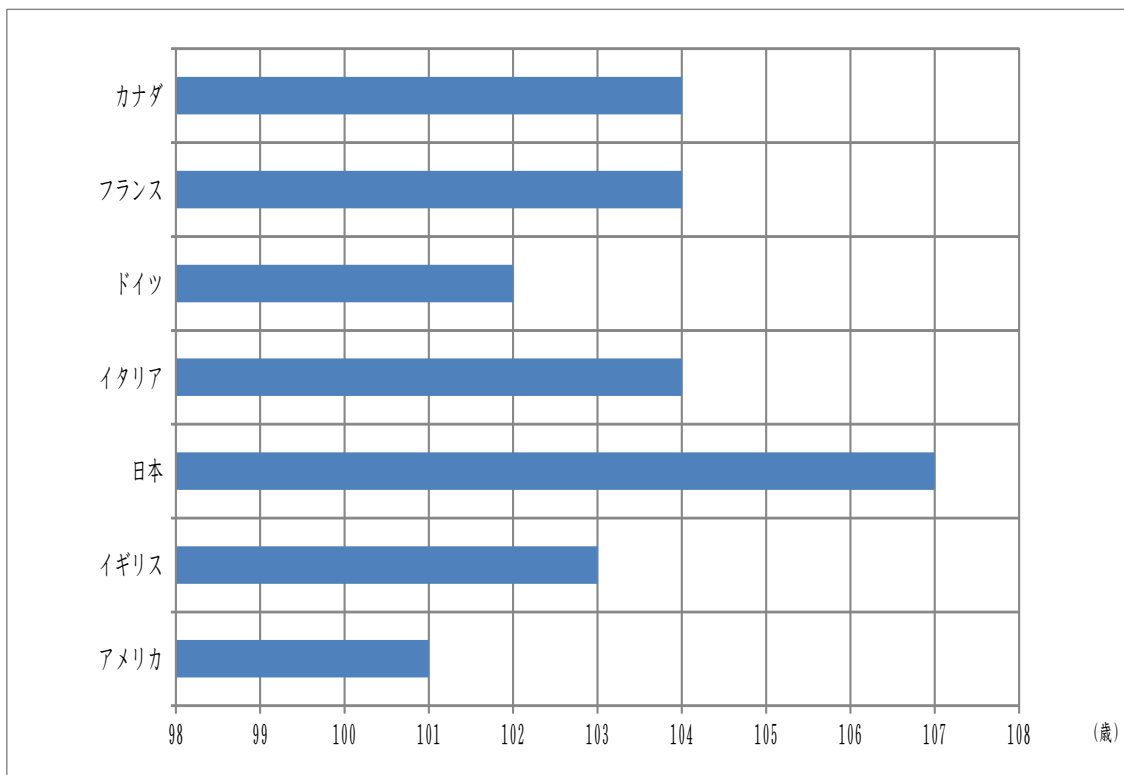
問題

近い将来、これまでの人生設計とは異なる時代がやってくると考えられています。これに関する次の資料を参考にして、各問いに答えなさい。

〔問1〕 次の資料1及び資料2から読み取れる内容として正しいものを、次のア～エより2つ選び、記号で答えなさい。

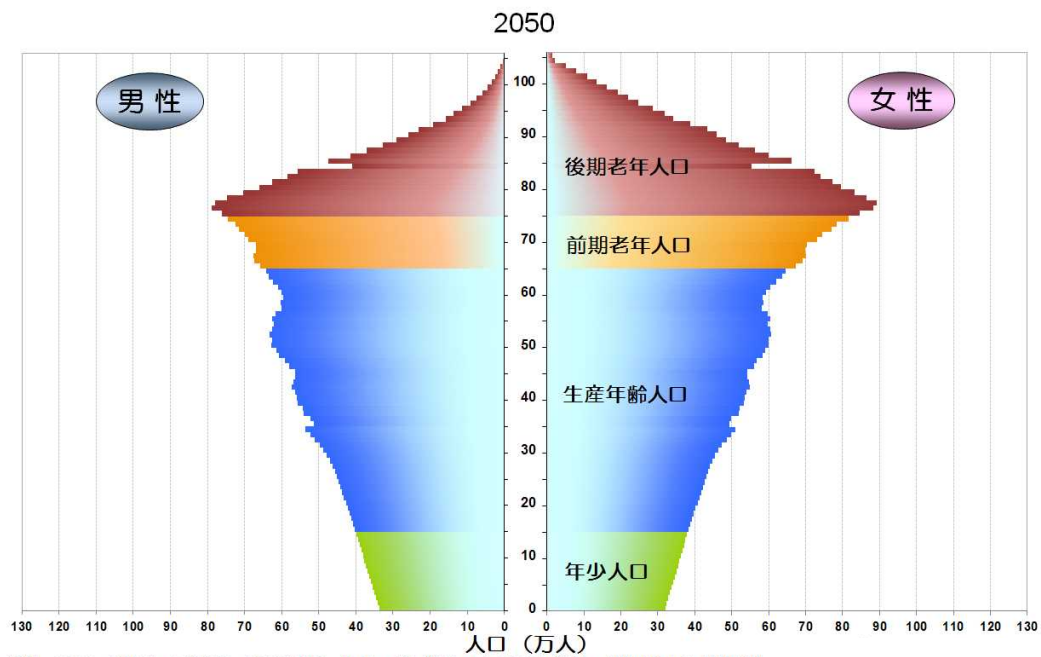
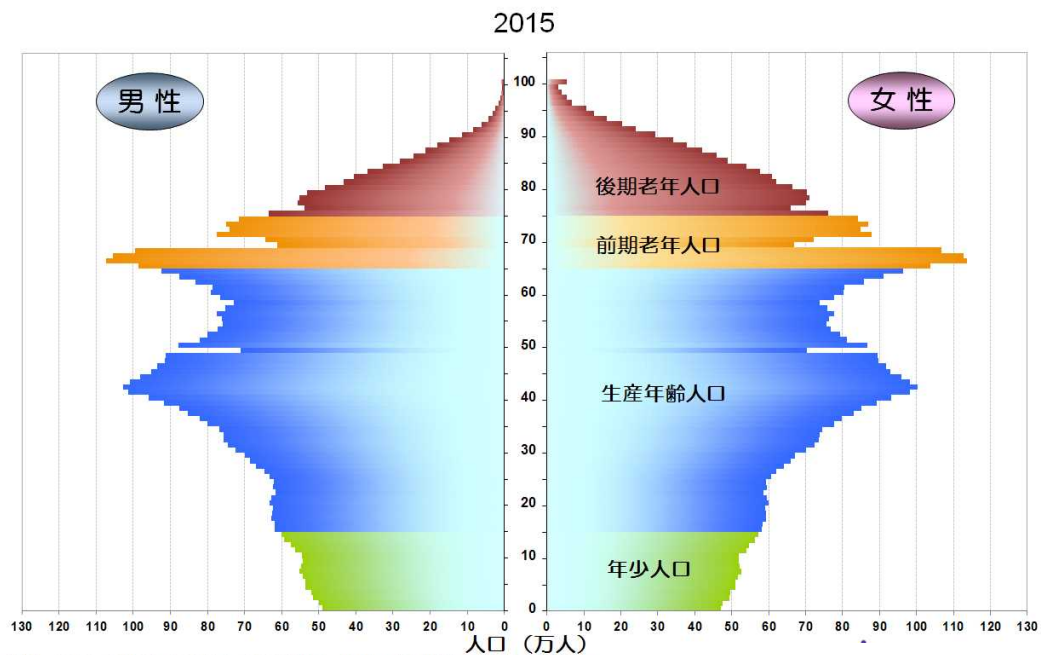
- ア. グラフに見える国々の中では、日本の2007年生まれの子どもの半数は108歳に達することが予想される。
- イ. グラフに見えるヨーロッパの国々の中には、2007年生まれの子どもの半数が104歳に達しない国も存在することが予想される。
- ウ. 2050年の日本の人口ピラミッドでは、最も人口が多い世代は75歳から79歳の後期高齢者世代であることが予想される。
- エ. 2050年に向けて、少子高齢化にやや歯止めがかかっている傾向が予想される。

資料1 2007年生まれの子の半数が達する年齢



(カリフォルニア大バークレー校、
ドイツマックス・プランク研究所「ライフシフト」より作成)

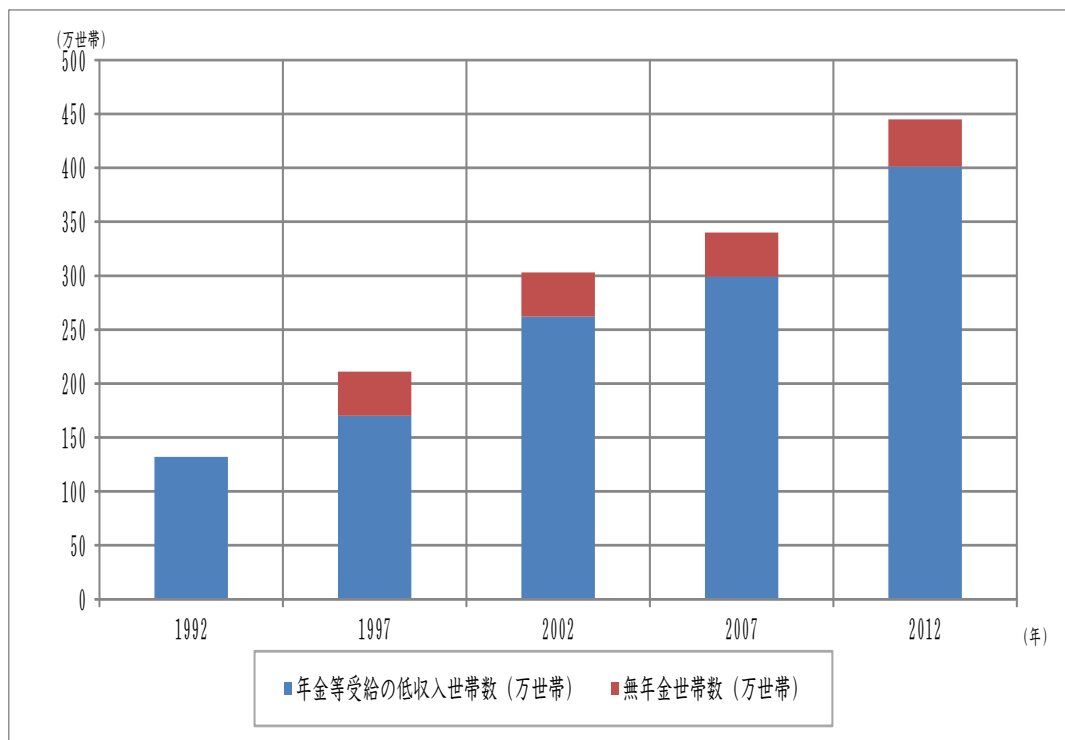
資料2 2015年と2050年の日本の人口ピラミッド予想



(国立社会保障・人口問題研究所
「日本の将来推計人口(平成29年推計)」より)

〔問2〕日本が将来抱えると見込まれる問題点とその原因について、次の「資料3」～「資料5」の内容に触れながら、140字以上160字以内の日本語で具体的に説明しなさい。

資料3 低収入（※1）の高齢者世帯（※2）の推移



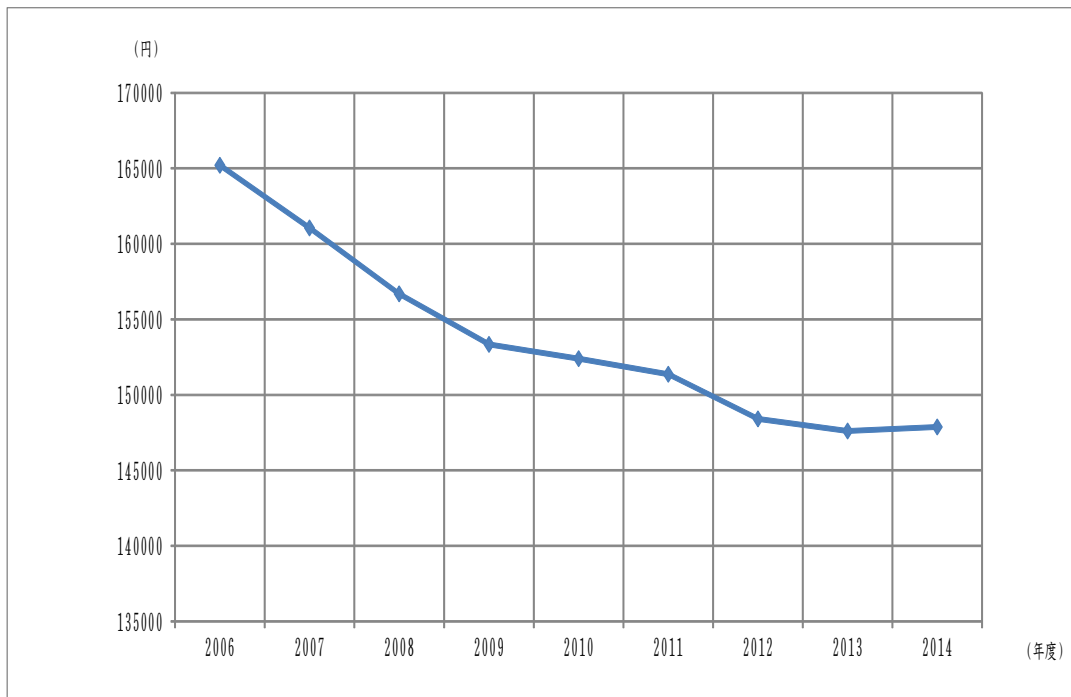
（星貴子「生活困窮高齢者の経済的安定に向けた課題」

『JRI（株）日本総合研究所レビュー2017 Vol. 6 NO. 45』より）

（※1）低収入……最低生活費（年収）は生活保護費の基準ともなる費用のこと。それは都市規模・世帯人数によって異なる。2012年度の東京都の場合、夫婦のみ世帯220万円、単身世帯144万円であり、同じく徳島県の場合はそれぞれ160万円、95万円となる。

（※2）高齢者世帯…厚生労働省「国民生活調査」では、65歳以上の者のみで構成する世帯、またはこれに18歳未満の者が加わった世帯としている。

資料4 老齢厚生年金(※3)受給金額(平均)の推移



(「厚生労働省 平成28年度厚生年金保険の概況」より)

(※3) 老齢厚生年金…厚生年金は、1942年に創設された、民間企業で働く会社員を対象とした公的年金制度のことである。国民年金に上乘せされた形で管理・運営されている。65歳以降支給される年金を老齢年金という。資料中の金額は1か月の費用(月額)を示す。

<資料5は次のページにあります。>

資料5

現時点での年金の平均的な額は年収約510万円の会社員が40年加入した場合で月額15.4万円だ。

問題は、少子高齢化が進行する中で、将来の年金額が大幅にカットされないのか、ということだろう。「今後出生率は回復せず、平均寿命は延びる」という厳しい前提で、2014年に行った財政見通しでは「今後の経済がある程度順調であれば、平均的収入の会社員専業主婦世帯では、手取り賃金の5割程度の年金額を維持できる」との結果が出た。

(中略)

年金水準は現状に比べ、約2割の目減りとなる。しかしマイナス成長が続き、制度面でも何の対策も講じなければ、4割以上目減りしてしまうという試算もある。公的年金の将来像は、今後の日本経済のふんばりに大きく左右されるのだ。

(「日本のような事態にならないように」)

The Asahi Shimbun Globe January 2018より作成)

〔問3〕次の文章には、問2の「日本が将来抱えると見込まれる問題点（以下、日本の問題点）」を克服するヒントが示されている。

- (1) 次の文章中の空欄①に適すると思われる語句を答えなさい。
- (2) また、文章中の空欄②、③に入る語句の組み合わせとして正しいものを、あとのア～エより1つ選び、記号で答えなさい。
- | | | | | | | | |
|----|----|---|----|----|----|---|----|
| ア. | 福祉 | - | 保障 | イ. | 負担 | - | 財産 |
| ウ. | 財産 | - | 負担 | エ. | 保障 | - | 福祉 |
- (3) 「日本の問題点」を克服するために取り組むべき具体的な対策を、あなたが政府や企業の立場に立って、それぞれ100字以上120字以内の日本語で説明しなさい。

2016年には12%だったシンガポールの65歳以上の人口は、30年には24%に倍増する予測。日本ですら22年を要したプロセスを14年で突き進み、50年には3人に1人が高齢者になると言う。出生率は1.2と世界最低レベルで、積極的に進めてきた移民受け入れにも限界がある。八方ふさがりの中で国が選んだのが、「(①) 続ける社会」だった。首相のリー・シェンロン(65歳)は、14年末、フェイスブックで「日本で高齢者福祉が社会の(②)になる」。「これは教訓だ。我が国は日本のような事態にならないようにしなければならない」と国民にはっぱをかけた。「高齢者は(②)ではなく、(③)になり得る。高齢化の波を『シルバー・ツナミ』ではなくて、『シルバーの恩恵』ととらえるべきだ」(エイミー・コー保健省上級相)との理念のもと、元気な高齢者を「楽齢(アクティブ・エイジャー)」と名付け、60歳を「New 40(新しい40歳)」と呼ぶなど「エイジレス(年を取らない社会)」を打ち出す。

(「日本のような事態にならないように」

The Asahi Shimbun Globe January 2018より作成)

<問題は以上です。>